

ANIMAL CENTER NEWS

No . 21

目次

◆動物実験に関する教育訓練の e-learning 化と再教育のお願い

◆外部検証に向けた自己点検票の作成依頼

◆マウス用 A p 型アニコンラックおよび

個別換気ケージシステムを新たに導入します

◆実験動物用 3 D マイクロ X 線 C T の設置について

◆愛媛大学動物実験規則の改訂について



(写真 1) 富士山

◆動物実験に関する教育訓練の e-learning 化と再教育のお願い

動物実験に関する教育訓練は、2022 年度 4 月から全面的に Moodle を活用した e-learning へと変更し、確認テストの合格をもって受講の証明とします。また、教育訓練の対象者は、①本学において初めて動物実験に携わる研究者のほかに、新たに②本学においてすでに動物実験に携わっている研究者とします。②の対象者の教育訓練は、2 年に 1 回、内容は e-learning の簡易版を予定しています。e-learning は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の一環で暫定的に導入済みで実績があり、研究者の都合の良い時に受講できるなどの利点があります。また、現在の教育訓練では、過去に 1 度でも受講した者は動物実験を実施できることになっていますが、受けた教育内容が古く、現在の動物実験に関する指針等を踏まえていない実験計画書の提出が頻繁に認められます。このことから法改正などの最新情報などを中心に動物実験についてのエッセンスを 2 年に 1 回訓練を受けることが、動物の愛護および管理に関する法律（動愛法）の定める適切な機関管理につながると考えられます。

何卒、ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

◆外部検証に向けた自己点検票の作成依頼

すでにご連絡が行き届いているかと存じますが、我々は、日本動物実験学会による「動物実験に関する外部検証」を受ける計画しています。その準備の一環として、皆様には昨年と同様に、「動物実験の自己点検票」および「実験動物飼養保管状況の自己点検票」の作成をご協力願います。この自己点検を通じて、各々適切に動物実験が実施されているか見直していただけたらと思います（本点検票にて、「いいえ」や「ある」が一つでも含まれると外部検証を受けることができません。「いいえ」や「ある」が認められた場合、直ちに改善いただくようお願い申し上げます）。また、動物実験部門の[ホームページ](#)もご参考ください。何卒、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

◆マウス用 A p 型アニコンラックおよび個別換気ケージシステムを新たに導入します

動物実験センター 2 階 245 号室・3 階 351 号室にマウス用 Ap 型アニコンラックを、3 階 310 号室にマウス用個別換気ケージシステムを新規導入致します。納期はいずれも 3 月中を予定しております。今後とも皆様に快適な研究環境が提供できるよう尽力して参りますので、何卒よろしくお願い致します。

◆実験動物用3DマイクロX線CTの設置について

今年度、Rigaku社製の μ CT「CosmoScan FX」を321処置室に設置することとなりました。



(図1) μ CT CosmoScanFX

設置後、機器の利用に関する説明会*を開催する予定ではございますが、詳細な機能についてのお問い合わせがございましたら、動物実験部門へご連絡ください。

*説明会は新型コロナウイルスの影響により中止する可能性があります。

◆愛媛大学動物実験規則の改訂について

国立大学における動物実験規則の制定は、国立大学法人動物実験施設協議会の作成・提案した機関内規定のひな型を参考にしています。昨年、このひな型が改定されたことから（第4版）、本学においても愛媛大学動物実験規則も見直し・修正を行いました。主な変更点は以下の通りです。

- ・実験動物の飼養及び保管に当たって、動物福祉の基本理念である「[5つの自由](#)」に配慮して実施しなければならないこと規定。
- ・動物実験責任者の変更を[様式第2号](#)の提出・承認で対応できるように変更。
- ・実験動物管理者は、飼養保管施設の保守点検等により、実験動物の確認を行うことを規定。
- ・実験動物管理者、実験動物実施者及び飼養者は、相互に実験動物による危害の発生の防止に必要な情報の提供等を行うよう努めることを規定。
- ・自己点検・評価の結果について、外部の専門家による検証を義務化することを規定。

改定後の愛媛大学動物実験規則・動物実験委員会規程は[こちら](#)をご確認ください。